



歩道を飾る「将来の夢」

城内の歩道整備に合わせて設置した絵タイル「将来の夢」の除幕式は3月18日に行われ、絵を描いた花巻小学校の児童など約100人が出席しました。

絵タイルは、市民体育館北側の歩道沿いに120枚設置。紅白の幕が取り除かれ、児童たちが思い思いに描いた絵が現れると、自分の絵を見つけて喜んで、友達と絵を探したりしていました。

除幕に続いて、4人の児童が代表して絵に込めた夢や願いを紹介。合唱も披露され、完成に花を添えました。



将来の夢を描いた絵タイルを笑顔で見つめる花巻小学校児童の皆さん

自分だけの花巻人形に満足

花巻人形絵付け体験が3月23日、花巻市博物館で行われました。

ひな祭りシーズンに合わせて毎年開催しているテーマ展「花巻人形展」の関連行事で、子どもから大人まで22人が花巻人形の絵付けに挑戦。ことしのえとであるウマのほか、ウサギやヘビの人形に、赤や青、緑、黄など鮮やかな色の顔料を塗りました。

見本に忠実に色を塗り模様を描き込む人が多い中、独自の色を施す人も。絵筆を上手に使い、丁寧に仕上げた皆さんは、自分の人形の出来栄に満足していました。



花巻人形の絵付けに挑戦する皆さんの表情は真剣そのもの

人工芝グラウンドオープン

4月6日、太田の花巻市スポーツセンターで、「人工芝グラウンドオープン記念行事」が開かれました。

同施設は、シーズンを通して気軽に利用できるように、4面あるコートのうち、1面を利用上の制約の多い天然芝から人工芝に張り替え、新たにオープンしたものです。

当日は、市内のサッカースポーツ少年団の代表など10人による一斉シュートの始球式に続き、同少年団などによる交流戦が行われ、選手の皆さんは人工芝の感触を確かめながらプレーを楽しみました。



(写真右)一斉シュートの始球式の様子
(写真下)人工芝グラウンドでプレーを楽しむ市内サッカースポーツ少年団の皆さん



賢治の世界豊かに表現

賢治童話劇発表会「しゅっぱーっ！銀河の鉄道」が3月16日、宮沢賢治イーハトーブ館で開かれました。

JR釜石線での蒸気機関車「SL銀河」の運行開始を記念して上演されたもので、市内の小学1年生から中学1年生まで16人が出演。「劇団らあす」の指導を受け、昨年10月から練習を重ねてきた歌やダンスを交えた演技で、賢治の童話「銀河鉄道の夜」の世界観を表現しました。

鑑賞に訪れた多くの皆さんは、子どもたちの元気な演技に顔をほころばせていました。



大勢の観客を前に「銀河鉄道の夜」を表現豊かに演じる子どもたち

色鮮やかな山車 早春を彩る

北笹間天満宮の火防祭が3月25日、北笹間地区内で行われました。

天満宮の旗を掲げた子どもたちを先頭に、色鮮やかな山車やみこしを連ねた一行は、公民館や寺社に立ち寄って神事を執り行い、北笹間大乗神楽を奉納。地区住民が1年の息災を願いながら練り歩きました。

山車は6台で、それぞれソチオリンピックや交通安全、戦国武将などをテーマにして、紅白幕や人形、造花などでリヤカーを飾り付けたもの。華やかな行列が早春の風景を彩りました。



北笹間地区の皆さんが華やかな山車を引いて、地区内を練り歩きました

新酒の出来栄を競う

第95回南部杜氏自醸清酒鑑評会が4月1日から4日までの4日間、石鳥谷町中寺林の南部杜氏会館で開かれました。

北は北海道、南は岡山県まで、全国152の蔵元から南部杜氏が手掛けた新酒722点が出品され、審査員が味や香りのバランスなどを一点一点確認。県工業技術センターの米倉裕一醸造技術部長は、「昨年より米の溶けが良く、味が乗っている」と全体を評価しました。

表彰式は、5月23日に石鳥谷生涯学習会館で行われます。



南部杜氏自醸の新酒の味や香りなどを吟味する審査員